



SDGs、レジリエントな エネルギー環境社会の 構築を目指して

2019. **12.3** (火) 13:00-15:00
(開場/12:30)

日常生活や経済活動に不可欠なエネルギー。再エネと呼ばれる太陽光や風力を利用した発電設備は増えてきましたが、依然として日本のエネルギー供給は脆弱です。総エネルギー供給の9割、電力供給の8割を石油・石炭・天然ガスといった化石燃料に依存し、そのほぼ全量が輸入です。主要な輸入元である中東情勢は緊迫化し、海上輸送路では中国が人工島を建設。化石燃料消費に伴う気候変動の影響は、世界的な猛暑干ばつ・台風の大規模化、それに伴う停電など目に見える脅威となっています。自然由来の再エネについても、実態の伴わない地産地消、不安定電源といったデメリットも周知され、冷静な評価の時を迎えています。

そこで、このシンポジウムでは内外のエネルギー環境情勢を踏まえ、レジリエント(強靱な、しなやかな)社会を構想したいと思います。

定員

先着300名(入場無料/要事前申込)

会場

名古屋学院大学 名古屋キャンパスしろとり翼館4F クラインホール

プログラム

〈総合司会/家本 博一 (名古屋学院大学社会連携センター長/経済学部教授)〉

13:00 【開会挨拶】 小林 甲一 (名古屋学院大学学長)

13:05 【基調報告】「世界のエネルギー環境情勢とわが国の課題」

13:45 小山 堅 (日本エネルギー経済研究所 常務理事/首席研究員)

13:50 【パネルディスカッション】

15:00 パネリスト

平岩 芳朗氏 (中部電力株式会社 取締役専務執行役員)

伊藤 克彦氏 (東邦ガス株式会社 取締役専務執行役員)

竹内 恒夫氏 (名古屋大学大学院 特任教授)

佐々木 健吾氏 (名古屋学院大学 経済学部准教授)

小山 堅 (日本エネルギー経済研究所 常務理事 首席研究員)

コーディネーター

木船 久雄 (名古屋学院大学 常任理事/経済学部教授)

基調講演者／パネリスト



小山 堅

日本エネルギー経済研究所
常務理事／首席研究員

早稲田大学大学院経済学修士修了。1986年4月日本エネルギー経済研究所入所、2011年より現職。英ダンディ大学博士課程留学、2001年6月博士号取得。東京大学公共政策大学院客員教授。長期エネルギー需給見通し委員会等の政府審議会委員を務める。著書に「シェール革命再検証」や「国際エネルギー情勢と日本」等多数。専門はエネルギー安全保障、国際石油・エネルギー情勢分析。



竹内 恒夫
名古屋大学大学院
特任教授

*1954年生まれ。名古屋大学経済学部卒業。1977年～2006年環境庁・環境省、地球温暖化政策、廃棄物リサイクル政策などを担当。2006年から名古屋大学大学院環境学研究科教授。地域のエネルギー・気候政策などを研究。『世界首長誓約／日本』を実施中。2019年4月から現職。著書：地域環境戦略としての充足型社会システムへの転換（清水弘文堂書房、2016年）、Resilient Policies in Asian Cities（共著、Springer、2019年）ほか。



平岩 芳朗
中部電力株式会社
取締役専務執行役員

1959年生まれ。東京大学大学院工学系研究科電気工学専門課程修了。2005年流通本部 系統運用部 給電調査グループ部長。2012年執行役員 経営戦略本部 部長。2018年専務執行役員 コーポレート本部 副本部長 兼 ICT戦略室、ITシステムセンター 統括。2019年6月より現職。



伊藤 克彦
東邦ガス株式会社
取締役専務執行役員

1958年生まれ。名古屋工業大学工学部卒業。1982年東邦ガス株式会社入社。2008年広報部長。2010年企画部長。2013年執行役員。2014年執行役員（供給本部長兼）。2016年取締役常務執行役員。2019年取締役専務執行役員。企画部・電力事業推進部・供給本部を担当。現在に至る。



佐々木 健吾
名古屋学院大学
経済学部准教授

1979年生まれ。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了。京都大学博士（経済学）。京都大学経済研究所附属先端政策分析研究センター研究員を経て、2009年名古屋学院大学経済学部講師に就任。2012年より同准教授、現在に至る。専門は環境経済学。

コーディネーター



木船 久雄
名古屋学院大学
常任理事／経済学部教授

1955年生まれ。早稲田大学大学院商学研究科博士課程前期修了。日本エネルギー経済研究所・第六研究室長を経て、1992年本学経済学部助教授に就任。1998年教授昇任。情報教育センター長、経済学部長、大学院経済経営研究科長、学長を歴任。2018年8月より常任理事就任。専門は資源経済学、エネルギー環境政策。



名古屋学院大学 エネルギー環境シンポジウム

「SDGs、レジリエントなエネルギー環境社会の構築を目指して」

■申込方法

【FAX】 **052-682-6813**

必要事項をご記入の上、送信してください。

①参加者の氏名 ②電話番号 ③FAX番号またはEメールアドレス

※ご記入いただいた FAX 番号またはメールアドレス宛に、受講票をお送りします。

【インターネット】 受講申込フォームよりお申込ください。

<https://www.ngu.jp/collaboration/public-lecture/>

※いただいた個人情報は本講座関係事務にのみ使用し、

他の目的には使用いたしません。

※本学からの案内が受信できるメールアドレスをお知らせください。



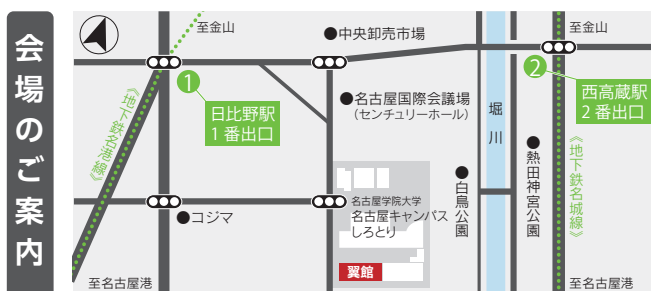
〈お問合せ先〉

名古屋学院大学 社会連携センター
名古屋市熱田区大宝2-4-45

Tel.052-678-4085

<https://www.ngu.jp/> E-mail: nguec@ngu.ac.jp

参加申込書



名古屋学院大学 名古屋キャンパスしとり「翼館」4Fクラインホール
名古屋市熱田区熱田西町1番25号

交通のご案内

地下鉄【名港線】日比野駅1番出口から徒歩約10分
地下鉄【名城線】西高蔵駅2番出口から徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車での来場はご遠慮ください。

参加者氏名	電話番号	FAX番号またはEメールアドレス